



恐竜を自由に描く

■ 思い思いの恐竜の絵を描きました

恐竜のおはなしを聴いて、好きな恐竜を描こう！



放送大学が主催するワークショップ「恐竜のおはなしを聴いて、好きな恐竜を描こう！」が3月29日(日)、市博物館で開催され、市民ら約40人が参加しました。



笠原さん(中央)と交流しながら絵を描く子ども

講師には、国立科学博物館館長の真鍋真さんと、カンボジアで完全無料の美術教室「小さな美術スクール」を主宰する笠原知子さんが登壇。参加者は、真鍋さんから恐竜の話聞いた後、自由な発想で思い思いの恐竜を描きました。

参加した大和田航世さん(米崎小2年)は、「光や影の描き方を教わった。色をたくさん使って、虹色のようにきれいに描けた」と笑顔。作品については「噴火や隕石で絶滅しそうなとき、スピノサウルスが水の中に逃げて生き延びる様子をイメージした」と想像力豊かに振り返っていました。

農作物を守る

■ 安心・安全な暮らしを守る

春の二ホンジカー斉捕獲活動を実施



捕獲活動のため山に入る隊員

二ホンジカーの斉捕獲活動が、4月5日(日)に広田町と小友町にまたがる仁田山などで行われました。

本活動は、鳥獣被害の拡大防止を目的に、令和6年度から毎年実施。当日は、市の鳥獣被害対策実施隊員のうち15人が参加し、二ホンジカーを追い立てる係と仕留める係の二手に分かれて捕獲活動を行いました。

隊長の細谷忠弘さん(米崎町)は「去年は二ホンジカーの目撃数が多く、農作物にも被害が出ている。住民が住みやすく、安心して農作物を作れるように活動に取り組んでいきたい」と意気込んでいました。

希望を胸に

■ 新生活の幕開け 市内小中学校で入学式

市内小中学校で入学式が行われました



校長先生の話をしっかり聞く新入生

4月4日(土)から8日(水)にかけて市内小中学校の入学式が行われました。本年度は小学生94人、中学生96人の計190人が入学し、希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。

8日に入学式が行われた矢作小学校では、3人の新入生が入学。式では校長先生から一人ずつ名前を呼ばれると、大きな声で元気よく返事をして、小学校生活をスタートさせました。

佐々木一義校長は「元気な返事とあいさつを大切にしましょう。学校でも地域でも心を込めてあいさつをしましょう」と呼び掛けていました。

伝統を賑わいに

■ 竹駒神社で12年ぶりの式年大祭

竹駒神社「初午式年大祭」



4月18日(土)竹駒町の竹駒神社(菅野哲彦宮司)の初午式年大祭が12年ぶりに挙行されました。当日は、同神社において4地区の祭組による余興奉納と祭典が行われた後、壺の沢祭組の大名行列を先頭に神輿を担いだ総勢約150人の渡御行列が出発し、春の陽気とともに町内各地を巡りました。

御旅所となった竹駒地区コミュニティセンター前のグラウンドでは、祭壇の前で、壺の沢祭組の大名行列、矢崎祭組の七福神、坊寺・仲の沢祭組の三頭虎舞、下沢祭組の傘おどりが余興として奉納され、それぞれの地区が紡いできた歴史と伝統を披露しました。

伝統芸能を披露した人の中には次世代を担う子どもたちの姿も多く、矢崎祭組の菅野恭子さん(竹駒小4年)は「踊りの練習がとても楽しかった。竹駒町に住んでいる人だけではなく、いろいろな地域の人にこのお祭りを知ってもらいたい」と振り返っていました。

また、大祭実行委員長の上部修一さんは「今回の式年大祭は4地区の祭組だけではなく、竹駒町全ての地域住民の皆さんの協力があって成し遂げられたもの。桜の咲くこの季節に、地域に笑顔をもたらすことができて良かった」と表情をほころばせていました。



竹駒神社から出発する神輿渡御

坊寺・仲の沢祭組の三頭虎舞



下沢祭組の傘おどり



壺の沢祭組の大名行列



矢崎祭組の七福神